

令和2年度事業計画

昨年の我が国経済の現状は、世界経済の緩やかな回復を背景に、政府の経済政策により、企業収益が過去最高となり、雇用情勢では、有効求人倍率が令和元年12月で1.63倍と高く、完全失業率も2.2%と低下しており、企業の人出不足感は四半世紀ぶりの高水準となっています。

しかし、国内では昨年4月からの働き方改革関連法の施行や10月の消費増税と軽減税率の導入、また国外では米中貿易問題・英国のEU離脱など、景気回復へのリスク要因は日々増加しており、さらに、本年初頭からの新型コロナウイルス感染拡大によるパンデミック（世界的大流行）宣言（3月現在）で、国内外とも先行きの不安感・不透明感は急速に増大しているところであります。

一方、我が国の人口減少、少子高齢化は確実に進んでおり、高齢化率は28.1%に達し、平均寿命も女性87.32歳、男性81.25歳と過去最高を更新。国は、健康寿命の延伸もあり、元気で意欲のある高齢者が働く環境を整備し、生涯現役で活躍できる社会を創ることの重要性を示しています。

65歳雇用延長の定着から定年の更なる延伸や撤廃の動き、働き方改革の一環で令和2年4月から施行される同一労働同一賃金のシルバー労働者派遣事業への適用など、今後の高齢者の就業環境は大きく変化することが予想されます。

首都圏への一極集中は是正されず、地方の人口減少が一層進む中で、高齢者の活躍が地方や地域の活性化にとって重要であると期待されており、シルバー人材センターの存在意義や重要性が高まるものと思われれます。

これらを踏まえ、以下の事項に積極的に取り組み、諸課題の解決に努めます。

また、別表に令和2年度事業の開拓目標を掲げています。

1 新入会員促進と退会員抑制および女性会員拡大の取組

70歳台会員が中心となっている現状から、最近では、80歳台になっても元気に活躍できるシルバー人材センターの在り方も調査研究されており、事業の維持・拡大を図るためには、会員数の減少を食い止めることは不可欠であり、新入会員の獲得と併せて、退会会員を抑制する体制づくりが要求されています。

退会の理由が、加齢・体調不良が大半を占めていることから、今まで以上に、会員の健康状態をフォローしつつ、未就業会員のマッチングも推し進める取り組みを行い、退会会員が現行より多くならないように努めます。

会員拡大には、募集チラシ、ホームページや新聞等を活用しての発信だけではなく、会員と役員、事務局が一丸となって新規入会者を増やす活動を推進し、引き続き、女性高齢者が魅力を感じて入会してもらえる方策を探り、女性会員の入会を促進します。

2 地域社会が期待する業務の新規開拓と積極的な受注の取組

国は、高齢者の増加割合に対し、シルバー人材センターの会員が増加しないのは、団塊の世代が望んでいる仕事が提供されていない、つまり魅力を感じていないのではないかと分析しています。

その課題を解決するため、受注する内容については、就業する会員の安全と適正さを優先的に配慮しつつ、地域社会が期待する新たな業務を開拓し、かつ、積極的に受注していくよう推進します。

3 安全就業の取組

安全・適正就業委員会が策定した安全就業対策実施計画に基づき、安全就業を推進します。

「安全就業対策実施計画」

(1) 計画の目標

- ①就業中の傷害事故や損害賠償事故発生の根絶をめざす。
- ②就業中および就業途中での交通事故の根絶を推進する。
- ③会員の健康維持増進を積極的に推進する。

(2) スローガン

「 気をつけろ！ 健康と仕事の危険は 紙一重 」

(3) 主要な安全就業対策の推進

安全・適正就業委員会による安全就業対策実施計画の策定と実施、毎月発行の「加東市シルバー便り」等で安全・適正就業を啓発し、事故発生「0」を目指さなければならない。

就業現場単位の安全就業の安全意識の醸成・管理はもちろん、組織全体が危機管理の徹底が強く求められる。

このような観点から、令和2年度の取組として、安全就業対策実施計画の目標達成に向け、以下の項目を着実に実施していく。

- ①安全就業の管理体制の確立と管理活動の活性化、定着化
 - ア. 安全・適正就業委員会による安全対策会議の開催。
 - イ. 事業活動と一体となった安全就業管理計画の作成及び計画的な実施。
 - ウ. 職群班の班長等による安全就業の管理と点検の推進。
 - エ. 運転免許の更新時期や自賠責・任意保険加入状況の確認。
- ②就業の適正化に関する基準等の活用
 - ア. 安全・適正就業委員会専門委員会で、問題が生じた場合の措置について協議を行い、発注者の信頼確保と会員の健康等を管理。
- ③ 安全教育の実施
 - ア. 毎月実施している入会説明会での安全就業等の指導。
 - イ. 安全就業に対する講習会等の実施。
 - ウ. 作業安全・交通安全等の啓発活動。
- ④危機管理の強化と安全意識の高揚
 - ア. 毎月、配分金通知に同封している「加東市シルバー便り」による事故防止の啓蒙・啓発。
 - イ. 安全・適正就業委員会による事故事例の分析、具体的な事故防止対策の策定及び周知、徹底。
 - ウ. 現場下見や打合せ等による就業可能かどうかの見極めの実施。
 - エ. 「安全就業推進強化月間」の設定と現場安全パトロールの実施。

オ．安全祈願祭の実施。

⑤保安用具の購入、貸与とその着用状況の確認、保護具等の耐用年数や保守管理体制の充実。

⑥健康の維持増進対策の推進

会員の健康を維持増進していくために、心身両面にわたるトータルな健康づくりの支援を行う。

ア．健康状態（心身の機能の変化等）を把握する。

イ．まちぐるみ総合検診や人間ドック等の受診の奨励、促進。

ウ．健康に関する情報（特に、認知症やフレイル（要介護予備段階）等）の情報発信や講習会の実施に努める。

4 高年齢者の就業に関する情報の収集・提供および調査研究の取組

全シ協や兵シ協、関係行政機関から発信される就業関連情報を収集し、会員へ、適時、情報の提供を行います。

また、各種研修会等や東播ブロック等の近隣センターで得た情報の分析・研究を行い、適切かつ円滑な事業運営を推進します。

5 高年齢者に対する就業相談の実施ならびに就業機会の確保および提供の取組

仕事と就業希望会員のミスマッチを解消するため次の相談業務を行います。

（1）会員・未就業会員の就業相談・就業情報提供を随時行う。

（2）入会希望会員の就業相談を、入会説明会時も含め、随時行う。

また、地域社会に密着した仕事を、加東市等の公共・公的団体や民間事業所・団体および一般家庭等から受注・確保し、会員それぞれの適性に合わせ、組織的に提供します。

6 高年齢者等に対する講習会等開催の取組

会員や地域の高年齢者の就業に必要な知識や技能の習得を目的とした、兵シ協等やセンター主催の講習会等を企画・開催します。

7 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の実施。

兵シ協が実施する一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の実施事業所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者にシルバー派遣事業を実施します。

8 運営費の効率的・効果的な執行に向けての取組

経費の見直しや情報システム利活用などにより、運営費の効率的・効果的な執行を目指します。

9 会員の親睦および相互共助ならびにセンター発展のための取組

会員の親睦および相互共助ならびにセンター発展に寄与する目的で、互助会事業を推進します。

令和2年度 事業の開拓目標 シルバー請負等事業

区分 職業分類	仕事の内容	公共事業		民間事業	
		延人員 (人)	事業収入 (千円)	延人員 (人)	事業収入 (千円)
専門的・技術的職業	個人授業	0	0	30	40
事務的職業	市受付・筆耕 一般事務 宛名書	1,000	6,420	1,000	6,108
サービスの職業	夜間管理・施設管理 管理室受付	1,195	4,200	1,898	13,450
農林漁業の職業	剪定・育苗作業・日役 農作業補助・公園管理	1,570	12,050	1,180	1,400
生産工程の職業	検品作業・溶接 組立加工	2	7	1,400	8,100
輸送・ 機械運転の職業	学校給食配達 送迎バス運転	500	3,800	1	5
建設・採掘の職業	発掘・左官業	20	290	4	30
運搬・清掃 包装等の職業	草刈・草引き・清掃 包装・苗配達	17,600	94,900	20,600	114,200
合 計		21,887	121,667	26,113	143,333
		就業延人員(人) 48,000		総事業収入(千円) 265,000	

シルバー派遣事業

区分 職業分類	仕事の内容	民間事業		公共事業	
		延人員 (人)	事業収入 (千円)	延人員 (人)	事業収入 (千円)
事務的職業	高齢者就労相談業務	80	530	0	0
販売の職業	スーパーの惣菜作り・ 品出し、店舗管理等	850	5,300	0	0
運搬・清掃・包装 等の職業	清掃・工場内軽作業等	1,370	9,470	0	0
合 計		2,300	15,300	0	0